

評価結果報告書

地域密着型サービスの外部評価項目構成

	項目数
I. 理念に基づく運営	11
1. 理念の共有	2
2. 地域との支えあい	1
3. 理念を实践するための制度の理解と活用	3
4. 理念を实践するための体制	3
5. 人材の育成と支援	2
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	2
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	1
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	1
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	6
1. 一人ひとりの把握	1
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	2
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	2
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	11
1. その人らしい暮らしの支援	9
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	2
合計	30

事業所番号	2772500902
法人名	有限会社 池田介護サービス
事業所名	グループホーム うらら
訪問調査日	平成 20 年 10 月 9 日
評価確定日	平成 20 年 11 月 17 日
評価機関名	特定非営利活動法人ニッポンアクティブライフクラブ

○項目番号について

外部評価は30項目です。

「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。

「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。番号に網掛けのある項目は、地域密着型サービスを実施する上で重要と思われる重点項目です。この項目は、概要表の「重点項目の取り組み状況」欄に実施状況を集約して記載しています。

○記入方法

[取り組みの事実]

ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入しています。

[取り組みを期待したい項目]

確認された事実から、今後、さらに工夫や改善に向けた取り組みを期待したい項目に○をつけています。

[取り組みを期待したい内容]

「取り組みを期待したい項目」で○をつけた項目について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容を記入しています。

○用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

1. 評価結果概要表

作成日 2008年10月15日

【評価実施概要】

事業所番号	2772500902
法人名	有限会社 池田介護サービス
事業所名	グループホーム うらら
所在地	グループホーム うらら 大阪府池田市栄町10番9号 (電話) 072-751-3100

評価機関名	特定非営利活動法人ニッポン・アクティブライフ・クラブ		
所在地	大阪市中央区常盤町二丁目1番8号親和ビル402号		
訪問調査日	平成20年10月9日	評価確定日	平成20年11月17日

【情報提供票より】20年9月10日

(1) 組織概要

開設年月日	平成16年8月1日			
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	8	人
職員数	13 人	常勤	4人	非常勤 9人 常勤換算 3.9名

(2) 建物概要

建物構造	鉄筋コンクリート 造り
	5 階建ての 階 ~ 2 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	70,000円	その他の経費(月額)	30,000円
敷金	.		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(500,000円) 無	有りの場合 償却の有無	○有
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日あたり		1,500円

(4) 利用者の概要(10月9日現在)

利用者人数	名	男性	名	女性	名
要介護1		名	要介護2		名
要介護3		名	要介護4		名
要介護5		名	要支援2		名
年齢	平均	歳	最低	歳	最高

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	池田回生病院 キッタカ歯科 くさかベクリニック
---------	-------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

阪急池田駅前ターミナルのすぐ前にある商店街の5階建て自社ビルの2階にこのグループホームがある。元々この場所にあったご自宅を建て替えられる際に現在のビルを建設された。前から営業されていた介護サービス事業に加えてグループホームを併設された。代表者の豊岡正純氏の奥様は介護支援専門員であり特別養護老人ホーム勤務のご経験もあり事業所の運営に協力して励んでおられる。ご自宅もこのビルにありこの地域にお住まいになってお仕事をされてこれ地域とのなじみも深く地域密着型サービスとしてのグループホームには恵まれた条件で高齢者の支援事業に熱意を持って励んでおられることが理解でき雰囲気も暖かい。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目 ①	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4) 前回評価の主な改善課題は管理者が評価結果をよく認識され改善に取り組んでおられる。職員とも評価の意義を話し合わせ協力して改善への努力をされている。特に災害対策には建物の多い商店街の画でもあり気を使われているが、地元消防署とも連携された安全への取り組みを期待したい。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 今回の自己評価への取り組みは職員に各項目に対する考えを記録にするよう指示されこれを管理者が改めて纏められた。
重点項目 ②	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6) 運営推進会議は2ヶ月に1回開催され記録も整理されているが参加者にもうすこし多くの立場の人に参加していただくよう働きかけていただきたい。また会議では運営状況などの報告だけでなくグループホームへの関心を深めてもらえるような取り組みを期待したい。
重点項目 ③	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8) 家族の方もよく訪問され職員の方も親しくお話をされている。それらの会話の中からいろいろの情報を聞き出し家族、利用者の意見、苦情等を参考にし運営改善への努力をされている。
重点項目 ④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) この地区の行事には敬老会、夏祭り、運動会、収穫祭など商店街の催しにも参加し利用者の方も地域の方達とお顔馴染みで会話し楽しんでおられる。

2. 評価結果(詳細)

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	理念として「皆様の笑顔でいっぱい」を合言葉に高齢者の方々にとって真のサービスとは何かを常に考え地域に溶け込み真心こめたお世話をさせていただきますとしている。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者も職員も理念を常に意識して共有されてリビングにも掲示されている。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	この地区の商店街の行事、神社の夏祭り、盆踊り、収穫祭、敬老会にも常に参加している。毎日の散歩や買い物に出て地域の人たちにも認識度が高い。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	管理者は外部評価の意義を理解し評価の意義や目的を全職員に伝え改善へと取り組んでいる。		
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1回運営推進会議を開催し地域包括支援センター担当者、民生委員、家族会代表が参加され外部評価等を報告し参加者の意見も聞き記録もとられている。ただ会議は報告が主でマンネリになっている。	○	この会議は地域の支援と理解を得る良い機会であり運営状況の報告等にとどまらず利用者への思いや介護への考え方などを積極的に話され出来るだけ外部の方の意見を引き出して会議のマンネリ化を防ぎ双方向の対話から今後への具体的な取り組みにつなげていただく事を望みたい。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	介護保険課、高齢福祉課とも連絡を取り地域包括支援センターには会議に出いただき常に協議できる関係を作っている。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	家族が面会に来られた時はいろいろな面で利用者の状況話をしている。来られない方には電話で報告し、また月に1回(うらら便り)を発行し送付している。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族とは出来るだけ多くお話しし意見や不満が話しやすい環境をつくるよう努力されている。苦情処理の状況は記録されている。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	現在のところ職員の異動はなく、なじみの関係を良く作っている。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部研修にも積極的に参加し研修の資料も職員全部に配布している。内部研修は定期的に参加し資料も整理されている。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	池田市のグループホーム管理者の会合に参加し他の施設の状況も話し合い相互訪問をしている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	一部の方は体験入所をしている。体験入所が無理な方は家庭訪問しなじみになる努力をして不安を取り除くようにしている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	少人数なので利用者の個性もわかりやすく得意な事などを教えて貰っている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	家族の方からの情報や普段の何気ない会話から希望や思いを把握できるよう努めている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	ケアマネジャーでもある管理者が家族や職員の意見を聞き話し合い、利用者本位の介護計画を作るようにしている。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	3ヶ月に1回見直しをしている。また利用者の状況に応じて新たな計画を立てているが日付の未記入も見受けられる。これに付随する生活日誌、週間サービス計画表はよく記入されている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援(事業所及び法人関連事業の多機能性の活用)					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	利用者がかかりつけ医等の受診を望む時は移送サービスを行っている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域支援との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	以前からのかかりつけ医の受診を利用者、家族が希望した時は受診できるよう支援している。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化した時の対応は運営規定に明記され契約時に利用者や家族に説明している。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	個人情報の記録は特別な場所に保管されている。職員に守秘義務やプライバシーについての研修も行われている。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者一人、一人のその人らしさを理解するように努め、利用者のペースにあわせその人らしく生活にメリハリがつくよう支援している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	朝食はパン食にし昼は食材の買出しに利用者の方と一緒にいき、調理、盛り付けを手伝っていただいている。盛り付けなどは出来る方にお任せしている。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	週3回入っていただいているがゆとりを持って利用者の希望にあわせて楽しめるように支援されている。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	利用者の好まれる事を見つけて花の水遣りや植え付け、食事時の盛り付け、カラオケなど楽しんでいただいている。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	殆ど毎日近くの商店街への買い物や散歩に外出し必要な方には個別に買い物も一緒に行く。		
(4)安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	鍵は危険なところ以外かけていない。		
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	建物が多く隣接している商業地域にあるので年に1回は必ず避難訓練をしている。地域と連携した災害対策は出来ていない。	○	今後は消防署の方に働きかけ消防署の指導の下、地域の方々とも連携して避難訓練に協力して実施されるよう特に希望したい。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事、水分摂取量は記録されている。水分など少ない時は配慮している。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	リビングには見やすいテレビや時計、日めくり、写真、季節の飾り物などが配置され、ソファも身体によいようにやや固めのものが最近設置された。ベランダにも出やすく安全に配慮されている。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室はそれぞれのお好みに飾られている。馴染みのものを持ってきていただくように管理者は話されていて自由にその人らしくしつらえられている。		